

今年の夏は阿蘇で挑戦！

アドベンチャーin A S O

～仲間と挑戦し、自分を越える3泊4日～

7月20日（月）～23日（木）の3泊4日で、市内小学校5年生から中学2年生までの30名と高校生ボランティア3名が熊本県阿蘇市に行ってきました！

広大な自然の中で、子どもたちは活動をとおりて、仲間と協力しながら挑戦する大事さを学びました。

ワクワクと緊張の出発式

朝は早かったですが、7時30分からいちきアクアホールで出発式を行いました。
子どもたちの顔つきは、緊張もありながら期待に胸を膨らませている様子でした。



入所式やアイスブレイク・KYTで共同生活がスタート！

今年の移動はフェリーではなく、バス！

片道3時間30分かけていちき串木野市から熊本県の阿蘇市へ！

3泊4日お世話になる国立阿蘇青少年交流の家で、入所式を行い施設の使い方を学ぶオリエンテーションを行いました。布団の畳み方や施設内でのルールを教えてくださいました。

KYTとはK（危険）Y（予知）T（トレーニング）の略称で、これから行う活動の中で危険箇所を活動班で話し合い、気を付けるべきところを共有しあう活動になります。

施設内での危険箇所を話し合うのと、2日目の登山活動についてKYTを行いました！

どの活動班も危険な箇所を仲間と話し合いながら見つけていました。



カレーを作る時、ルーを入れてからどのくらい煮込む??

野外炊飯は活動班に分かれてカレーライスを作りました♪

お米を炊く係、薪を割って火を起こす係、食材を切る係に分かれて、それぞれの役割分担をこなしながら違う係を手伝いに行く姿も見られました。

どの班も美味しくできており、野菜の歯ごたえまで楽しめるワイルドなカレーに仕上がった班もありました。

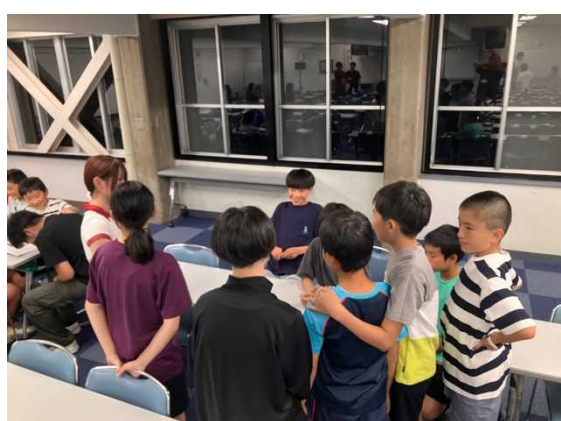
また、活動の中で「火起こしなら完璧です！」という頼もしい子も現れ、火起こしマスターに任命しました！



登る時の掛け声はあったほうがいいよね!?

野外炊飯も終わり、入浴を済ませたあとは活動班に分かれて2日目にある登山時の掛け声を考える時間になりました。

活動班ごとに作ってもらい、多数決を取った結果「登りきろう!阿蘇ー!」というシンプルかつ素晴らしい掛け声が誕生しました!2日目はみんなが決めた掛け声で中岳登山に挑戦します!!



きつい！つらい！でも一緒に頑張る仲間がいるから乗り越えられる！

2日目は「アドベンチャーin ASO」の目玉体験の中岳登山。1,506mに33名が挑みました。専門ガイドによる安全指導を終えて、いざ出発！

1日目の夜に考えた「登りきろう！阿蘇ー！」の掛け声でチーム一丸となって出発し、登り始めてから「すすめ岩迂回ポイント」まで急な登り坂が続きました。

先頭と最後尾が離れる場面がありましたが、およそ4時間をかけて頂上へ到着！

子どもたちは「きつい」「もうダメかも」と弱音を吐きながらも仲間と一緒に最後まで登りきろうという熱い気持ちがみんなの足を動かしていました。

約7時間半かけて全員怪我無く登山活動を終えることができました。

この達成感と成功体験は、生涯忘れない日になったことでしょう。



見て、聞いて感じた地震の恐ろしさ。自分にできることは・・・

3日目午前中の活動は「震災ミュージアム KIOKU」にて防災学習を行いました。

被災した建物は当時のまま保存されており、地震発生時の動画や映像を見て地震や防災の知識を学び、自分たちの身を守るためには何ができるのか、実際に地震が発生した時に何ができるのかを考えるきっかけになりました。



石と岩の違いはわかりますか？参加した子どもたちは知っています。

午後の活動は「火山博物館」で火山学習。

地球の誕生から火山の生い立ちや、生き物がなぜ存在するのか？など専門ガイドさんのクイズ形式のマニアックな説明に興味深々な子どもたち。2日目に登った中岳のプロジェクションマッピングを見たり、阿蘇にしかない巨大なジオラマや活火山の様子を映像で見ることができたのは子どもたちの貴重な経験となりました。

専門ガイドの方から石と岩の違いについて質問が出され、一般的には手で持ち上げることができるものが石で、手で持ちあげられないことができず、動かせないものが岩だそうです！



こんな草原初めて！壮大すぎる草千里！

火山博物館の見学が終了した後は外に出て草千里を散策しました。

壮大な緑に囲まれた草千里には阿蘇特有の生命体や希少な生き物たちがたくさん生息しています。子どもたちはガイドの案内のもと動物たちの足跡や珍しいフンコロガシを探しました。

約3万年前の火山噴火によって出来上がった草千里は壮大で、子どもたちの思い出に残る風景となりました。また、その景観や生態系を守るため牛や馬を放牧し、人が草刈りに入り、野焼きなどして人が手を加えて守り続けていることを学びました。



4日間を振り返りながら、想いをハガキに

4日目最終日は、思い出を振り返りながら家族や親戚にハガキを送ります。初めてアドベンチャーに参加する子が多い中、最初は緊張や不安があったと思います。活動を重ねるごとに協調性が生まれ、挑戦する心、自然災害の脅威を学び、仲間と一緒に乗り越えた充実感は、ここでしか味わえない貴重な経験となりました。



～ 活動風景 ～

